

山賀和真さん（環境科学専攻 社会基盤・建築学コース（建築系）/2022 年度修了）が日本建築学会の優秀修士論文賞を獲得しました。

大学院自然科学研究科 環境科学専攻 社会基盤・建築学コース（建築系）を 2022 年度に修了された山賀和真さんが 2023 年度の日本建築学会優秀修士論文賞を獲得しました。

日本建築学会の優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞は 1990 年に始まった表彰制度で、2023 年は第 34 回となります。山賀さんの修士論文は、文化財保存活用地域計画という新しい制度と、既存の歴史・景観関連の政策との関係性を分析したもので、その完成度が高く評価され、2023 年 9 月 13 日から 9 月 15 日に京都大学で開催された日本建築学会大会にて表彰されました。

受賞論文：歴史・景観関連計画との連携に着目した文化財保存活用地域計画の運用実態

参考

【2023 年（第 34 回）日本建築学会 優秀卒業論文賞・優秀修士論文賞】

<http://www.aij.or.jp/jpn/sotsuron/pdf/sotu2023.pdf>

